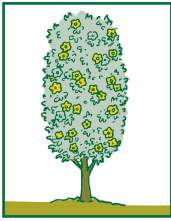


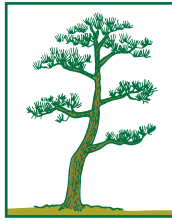
庭木の選び方と配置

●選び方

色で選ぶ
花や果実、
黄・紅葉の美
しさを愛でる



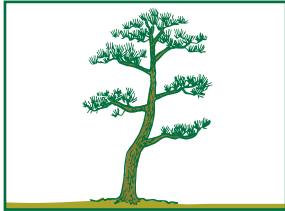
形で選ぶ
枝ぶりやその
樹形を楽しむ



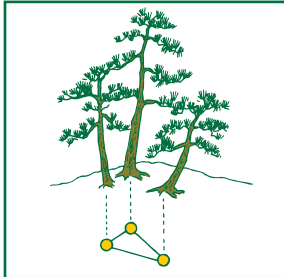
●配置の基本

和風の庭に植える樹木は、間隔や大きさ、そして質感の異なるものを上手に配置して、全体のバランスを考えます。

1 大きくて重量感のある木を中心に配置します。

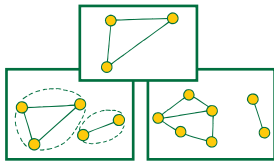


2 次に左斜めに次に大きい木(副)を植えます。



3 小さい木対を右斜め前に植えます。

※それぞれが平面・立面の位置で三辺の長さが違う形になるように植えるのが基本です。5本植え7本植えは3本植を基本にして、それぞれ組み合わせさせていただきます。

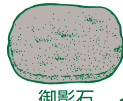


飛び石の種類と並べ方の基本

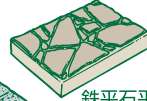
●種類



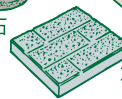
鉄平石(スリピ石)
産地によって青とか白といった色の違いがあります。



御影石



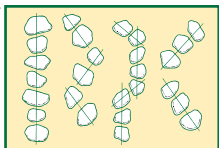
鉄平石平板



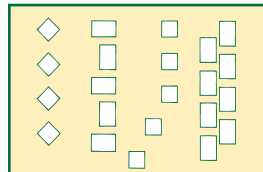
コンクリート平板

●鉄平石の並べ方

敷き石の間が石の中心から50~55cmぐらい離すのが歩きやすい間隔です。



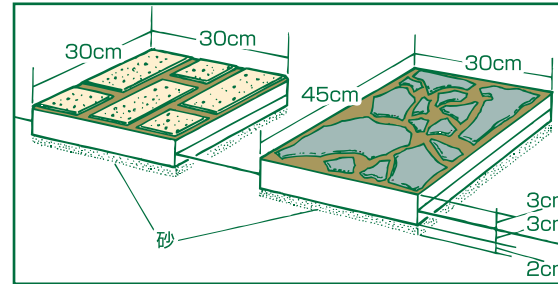
●コンクリート平板の並べ方



ここがポイント!

飛び石をうまく並べるコツ

水糸を張って端を揃えるように並べてください。
平板の高さは、地表から3cmほど上に出るように埋めてください。



園芸全般については、当店グリーンアドバイザーが、ご質問にお答えいたします。
お気軽にお声をおかけ下さい。

サービスのご案内



配送・ベランダ 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

和風庭園づくり

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

56



家を新築して、庭ができるという手を入れたくなくなってきます。池の配置から樹木の選定、遊歩道の配置……そして借景まで、いろいろ思いを巡らしながら設計していくのはとても楽しいものです。
洋風、和風とある程度統一した形のほうが、眺めて見た場合落ちつきますので、まずどちらにするのか自分の趣味を確認してから庭づくりを始めましょう。
ここでは“和風”に絞って紹介します。

和風庭園のつくり方

和風庭園づくりの基本

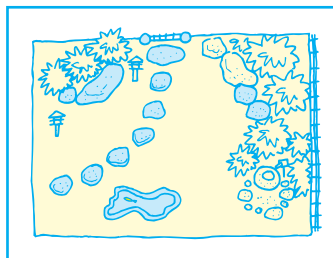
1 全体を考える

自宅の庭をひと通り見渡して、だいたいのイメージを思い浮かべ、池や庭木、灯籠などの配置を考えて、簡単な図にしておきましょう。それからひとつずつ、造っていきましょう。

■全体図(例)



■平面図(例)

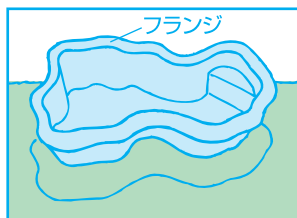


池の作り方

本格的な天然石を使った方が風情があるのですが、専門家でないとなると作るのが難しく、下手に作ると水漏れなどがよく起こりますので、ここではFRP製品を使った人工池を埋め、その周りを上手に自然石で囲み、自然石風の池を作ることにしましょう。

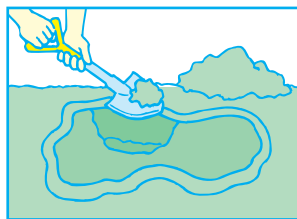
1 配置場所にマーキングする

場所を決めたらその上に人工池を置き、池の外側に出ている部分(フランジ)の外周を地面に書いた後、続けて池の内寸の線を引いてください。



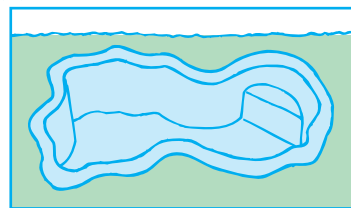
2 掘る

池の深さを内寸の線に沿って掘っていきます。



3 人工池を埋める

池の面が平らになるように掘り下げたら、一度池を入れてみて、水平になっているかどうか確認してください。そして平らになったら、周囲を埋め戻し、しっかり固定すると池が上がりやすくなります。フランジの部分にいろいろな大きさの自然石を置き、それらしく見せてください。
※水質を保つために循環ろ過器を必ず入れましょう。



砂利の敷き方

1 縁取りをする

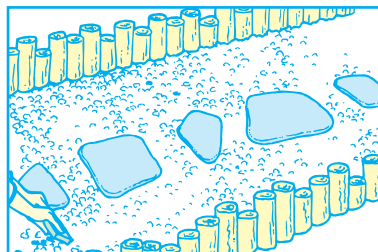
まず砂利を敷きたいところにレンガや擬木などで縁を作ります。

2 少し掘る

地面を少し掘り下げ、砂利を敷きます。まず砂利を袋から出して、ところどころに少しずつ山にして盛り、そのあと移植ゴテでならしていきます。板切れで平らにならしていくときれいなアプローチが仕上がります。

3 水を撒く

散水ホースで水を撒き、砂利の汚れを取ります。

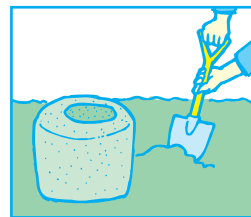


つくばいの作り方

つくばいとは茶室の庭先に置く手洗い用の石の鉢のことで、部屋に近いところの一角に作ります。つくばいは庭のアクセントにもなります。

1 少し埋める

位置を決めたら、つくばいが安定して倒れない程度に掘ってから、据えます。



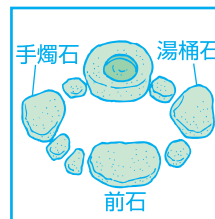
2 水の流れをみる

水鉢に水を注ぎ入れ、前後左右に水が分かれて流れるようにつくばいの水平を調整してから、しっかりと固定します。



3 まわりに石を置く

つくばいの左側に手燭石、右側には湯桶石をそれぞれ置き、60~70cmぐらいのところに前石を置きます。そしてそれらの石より小ぶりの石を、それらの石の間に置き、全体の体裁を整えます。



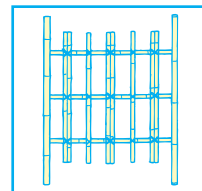
4 “海”に砂利を敷く

石で囲まれた部分は“海”と呼ばれています。ここに砂利を敷いてでき上がりです。下にコンクリートを流す場合がありますが、その場合には水はけのことも考えなくてはなりませんので、コンクリートは流さないほうがいいでしょう。

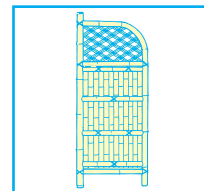


垣根の配置

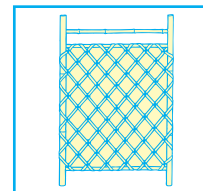
垣根は庭のちょっとした目隠しや仕切りに使われます。素材の違いやデザインによっていろいろ種類があります。下のイラストはその代表的なものです。



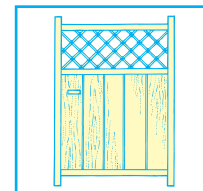
四つ目垣



袖垣



枝折戸



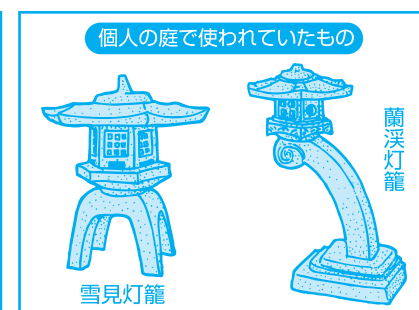
庭木戸

灯籠を選んで配置する

灯籠を置くと、その庭に一種の風格が出てきますので、予算があるのでしたらぜひ置くことをおすすめします。代表的なものは右のイラストのものがあります。



春日灯籠



雪見灯籠

蘭溪灯籠